

第 17 回理事会

12 月 6 日 午後 5 時～6 時 45 分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・田中・山縣・林各常任理事、沖中・加藤・藤本・香田・今村・中村・清水各理事、山本・武内・藤野各監事

協議事項

1 県民の健康と医療を考える会について

日本医師会より「国民医療を守るための国民運動」の展開にあたり、各都道府県においても県民集会や意見書の提出等の運動に取り組むように要請があった。本県では、「県民の健康と医療を考える会」により国民皆保険の恒久的堅持及び地域医療の再興を目的とした意見書を提出することとし、12 月 13 日に県民の健康と医療を考える会の総会を開催し、協議することとした。

2 「骨髄バンク普及映画」(日本医師会後援事業)の支援について

公益財団法人骨髄移植推進財団並びに骨髄バンク普及映画を作る会より、全国から会員を募って「骨髄バンク普及映画を作る会」を設立し、骨髄バンクのドナー登録のさらなる増加と骨髄バンクについての正しい知識の理解を図るための映画を製作するため、賛助会員登録での支援依頼があったが、見送りとなった。

3 木下敬介前会長の叙勲受章祝賀会について

12 月 9 日開催予定の祝賀会の日程、各担当について協議した。

4 向精神薬の多量投与患者について

同一患者による多重(複数施設)保険診療により、多量の向精神薬の入手が行われている情報の対応について協議を行い、情報確認及び分析のうえ、関係機関と連携して、事件及び事故の両面の防止を目的に対応していくこととした。

人事事項

1 山口産業保健・メンタルヘルス対策総合推進協議会の委員について

山縣常任理事を推薦することとなった。

報告事項

1 郡市医師会労災・自賠償保険担当理事協議会

(11月15日)

腰痛の労災認定等について山口労働局から説明があった。また、施術療養に対する適正な保険適用及び交通事故医療における「人身傷害補償特約」等について協議を行った。(萬)

2 山口県医師臨床研修推進センター運営会議

(11月15日)

平成24年度上半期事業報告、平成24年度医師臨床研修マッチング、山口県の医師確保対策等について協議した。また、来年度事業への要望やレジナビの成果、3年目研修医の県内定着率の現状報告等について意見交換が行われた。(中村)

3 献血推進ポスター・作文審査委員会(11月15日)

献血推進ポスター及び作文について、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点を決定した。

(小田)

4 健康やまぐち21推進協議会(11月15日)

「健康やまぐち21計画(第2次)」(仮称)の骨子案について協議。がん対策分科会から「第2期がん対策推進計画」(仮称)の骨子案について、歯科保健分科会から「やまぐち歯・口腔の健康づくり推進計画」(仮称)の骨子案について、協議状況の報告があった。(濱本)

5 美祢市医師会・美祢郡医師会役員との懇談会

(11月16日)

次期保健医療計画、24年度保険指導、診療報酬の改定と問題点、保険審査等について協議した。(河村)

6 山口県福祉サービス運営適正化委員会第74回苦情解決部会(11月16日)

苦情相談について協議した。(今村)

7 日医生涯教育協力講座「心房細動と脳梗塞」

(11月17日)

国立循環器病研究センター心臓血管内科部長の清水 渉先生による「心房細動における抗凝固療法～ダビガトランの1年の使用経験からの考察～」、川崎医科大学脳卒中医学教室教授の木村和美先生による「心房細動と脳梗塞」の特別

講演 2 題の後、「心原性脳塞栓症の今後の展望」をテーマに総合討論を行った。
参加者は 57 名。(河村)

8 「九州」,「中国・四国」地区歯科医師会役員連絡協議会(11月17日)
会長代理で出席し、挨拶を行った。(濱本)

9 やまぐち糖尿病療養指導士第5回レベルアップ講習会(11月18日)
講義と実習が行われた。受講者 194 名。(山縣)

10 自民党山口県連環境福祉部会との懇談会
(11月19日)
本会からの要望事項 5 項目について説明、要望を行った。(河村)

11 第2回都道府県医師会長協議会(11月20日)
11月29日開催の都市医師会長会議にて報告のため省略(会報平成25年2月
号掲載予定)。

12 「TPP 交渉参加断固阻止」JA グループ山口緊急集会(11月20日)
衆議院の解散が決定し、TPP をめぐる動きが緊迫する中、総選挙の結果が今
後の TPP 交渉の鍵を握ることが予想されることから、JA グループ山口の組合
員・役職員が共通の認識をもち、TPP 交渉参加断固阻止に向け徹底した運動を
展開するため緊急集会が開催され、後援団体として出席した。参加者は約 900
人。(事務局長)

13 山口銀行との懇談会(11月21日)
近況情勢について協議した。(河村)

14 第30回介護保険対策委員会・関係者合同協議会(11月22日)
かかりつけ医との連携及びひとり暮らしの認知症患者の対応等について協議
を行った。(藤本)

15 医事案件調査専門委員会(11月22日)
病院3件の事案について審議を行った。(林)

16 第3回学校心臓検診検討委員会(11月22日)
平成22年度報告書の進行状況と24年度精密検査受診票の回収状況について

報告があり、疑義照会について確認作業を行った。(山縣)

17 山口県学校保健連合会表彰審査委員会

(11月22日)

平成24年度学校保健功労者表彰の選定を行った。(小田)

18 山口県看護職員確保対策協議会(11月22日)

山口県の看護の現状及び山口県での専任教員養成講習会開催の継続性等について協議を行った。

(田中)

19 健康スポーツ医学実地研修会(11月23日)

山口大学松田昌子教授による特別講演「オーダーメイド医療としての運動療法の勧め」の講演後、ウォーキング(常盤公園)を実施した。(濱本)

20 「山口県民の歯・口腔の健康づくり推進条例」制定記念シンポジウム(11月24・25日)

日本歯科医師会長の久保満男先生による基調講演「歯科から実現する健康長寿社会」のあと、「歯科訪問診察時の注意点」の講演と、シンポジウムのシンポジストとして討論を行った。前日には、制定記念パーティーが開催され出席した。(小田)

21 山口県医療対策協議会(11月27日)

医師確保対策の取組状況及び次期保健医療計画における医師確保対策、次期保健医療計画におけるへき地医療対策について協議した。(小田、今村)

22 山口県医療対策協議会医師配置調整部会

(11月27日)

修学資金貸与者の配置先調整について協議した。(小田)

23 山口県医療審議会(11月27日)

地域医療支援病院の名称使用、第6次山口県保健医療計画の策定について審議した。(小田)

24 中国地方社会保険医療協議会山口部会

(11月28日)

医科では、新規 2 件（組織変更 1 件、移転 1 件）が承認された。（小田）

25 「山口県における医療従事者の勤務環境の改善」に関する企画委員会（11月28日）

平成 24 年度の医療従事者勤務環境の改善に関する取り組み、労働時間管理者の選任、24 年度の研修会等について協議した。（事務局長）

26 顧問会議（11月29日）

医師会活動の近況、医政対策の重要性等を協議し、懇談した。（河村）

27 個別指導「新規」（11月29日）

診療所 6 機関について実施され立ち会った。

（清水、沖中）

28 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

（11月30日）

横倉会長の挨拶後、全国医師会勤務医部会連絡協議会について、本年度担当の愛媛県医師会の実施報告と「愛媛宣言」の説明、平成 25 年度担当の岡山県医師会からの挨拶があった。その後、「勤務医の組織率向上に向けた具体的方策」をテーマにシンポジウムが開催され、日本医師会、大阪府、兵庫県、鹿児島県の各医師会からの発表の後、意見交換が行われた。（中村）

29 認知症サポート医フォローアップ研修会

（12月1日）

「今後の認知症医療連携の方向性と課題」（山口県立こころの医療センターの兼行浩史院長）及び「医師会病院認知症外来から - 早期発見と早期治療の重要性 -」（徳山医師会病院の森松光紀院長）の講演等が行われた。（藤本）

30 日医家族計画・母体保護法指導者講習会

（12月1日）

原 徳壽厚生労働省医政局長による講演「日本の医療提供体制の現状と課題」と、「改正母体保護法の課題」をテーマにシンポジウムが行われ、(1)母体保護法指定医師と精神保健指定医の制度の対比、(2)母体保護法指定医師の指定・更新のあり方、(3)生殖医療と母体保護法の各講演と厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長から指定発言が行われた。（藤野）

31 犯罪被害者週間行事（12月1日）

犯罪被害者等基本法並びに基本計画を受け、内閣府主催のもと全国において「週間行事」が例年開催されている。今年度山口県では、NPO法人山口被害者支援センターと山口県警察との協働で、NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事の小森美登里氏の講演と県警音楽隊の演奏等が行われ、主催者代表として挨拶を行った。（濱本）

32 学校医研修会・学校医部会総会・予防接種医研修会・学校心臓検診精密検査医療機関研修会（12月2日）

学校医研修会では、「歯科医の思っていること、知っておいてほしいこと」について（県歯科医師会 市川洋一郎先生） 予防接種医研修会では、「予防接種をされるすべての先生へ～不活化ポリオ、ロタウイルスなど最新的话题を含め～」について（山口赤十字病院の門屋 亮先生） 学校心臓検診精密検査医療機関研修会では、「二年生以上の心臓検診の意義～新しく見つかる心臓病～」（砂川博史委員長）について講演があった。学校医部会平成24年度総会の開始前、県眼科医会から「園児のための視力検査について」、県医師会から「柔道整復・鍼灸・マッサージ等を受ける場合の注意事項」についてお知らせをした。（山縣）

33 損保ジャパンとの懇談会

近況情勢、地震保険等について協議した。（河村）

34 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会 （12月5日）

東京医科大学茨城医療センターにかかわる件、平成24年度支部監事監査の結果等についての報告があった。（小田）

35 広報委員会（12月6日）

会報主要記事掲載予定（1～2月、炉辺談話）、次年度広報事業、tys「スパ特」のテーマ等について協議した。（林）

36 会員の入退会異動

入会5件、退会4件、異動14件。（12月1日現在会員数：1号1,304名、2号955名、3号441名、合計2,700名）

医師国保理事会 第 14 回

1 「組合員資格に関する判定基準」について

規約第 6 条第 2 項にある判定基準について、全医連（案）をもとに本組合の基準を作成し、平成 25 年 1 月 1 日から施行することを議決した。

2 第 11 回「学びながらのウォーキング大会」について（11 月 23 日）

久保田后子宇部市長の「宇部市民と常盤公園」と題した特別講演後、ときわ湖を一周するコースをウォーキングした。参加者 99 名。（沖中）